

共生・協働のむらづくり通信 第3号

共生・協働のむらづくり表彰



県では、「共生・協働の農村づくり運動」の全県的な取組を推進するため、地域の自主的な話し合いを基本に、実践活動を行っている地区及び共生・協働のむらづくりに功績のあった個人及び団体を表彰し、広く県民に紹介しています。

平成20年度は、薩摩川内市の「大馬越地区」と始良町の「住吉地区」が知事賞を受賞しました。



鹿児島県農政部

鹿児島県 共生・協働の農村づくり運動推進協議会

地域営農支援員をご活用ください！

「地域営農」とは？

地域の実態を踏まえ、地域住民による十分な話し合いを通じた合意形成の上で、担い手のみならず、高齢・兼業農家等も参加できる営農の姿を描き、互いに役割を担いながら、地域ぐるみで営農活動を実践していくことです。

「地域営農支援員」は、皆さんの話し合いや実践活動を支援するため、各地域振興局・支庁に16名を配置しています。

地域営農支援員の活用例

- ① 地域営農や都市と農村の交流によるグリーン・ツーリズムに取り組みたいが、何から始めたらいいの？
- ② 地元の農産物（特産品）等を活用した農産加工品づくりに取り組むにはどうしたらいいの？
- ③ 地域営農や直売所の活用などについて、他地域の取組事例を勉強したい。
- ④ 伝統芸能やその他の地域資源をどうすれば地域おこしに活かせるかアドバイスしてもらいたい。
- ⑤ 地域営農を成功させるために地元のリーダーはどんなことに配慮すればいいの？

私たちに御相談
ください！



地域営農支援員

むらづくり応援隊を派遣します！

県では、県内のむらづくり実践集落のリーダーやNPO法人等の関係機関・団体の中から、共生・協働の農村づくり運動への積極的な理解と協力の得られる方を「むらづくり応援隊」として登録し、希望する地域へ派遣し、応援隊自身の経験や知識等に基づくむらづくりのノウハウの提供等により、むらづくりの課題解決や話し合い活動を支援しています。

むらづくり応援隊派遣事例

テーマ：「食べ物にはドラマがある～心を育む食と農～」

講師：NPO法人霧島食育研究会 千葉 しのぶ 氏

内容：地元の食育活動を通じて郷土料理や「おふくろの味」を継承し、作り、食べる喜びや感謝の気持ちを育むことが、個人や地域での健康づくりにつながる。

受講者

の感想：地域の農産物を活かした食材での郷土食を研究し、後世に継承していきたい。

食事を美味しく食べ、自分が食べているものに興味を持つ食育の原点に戻り、学んだことを今後のむらづくり活動に活かしていきたい。



地域主体のむらづくり活動を支援します！

県では、むらづくりの活動に意欲がある集落や、課題を抱えているため、取組が進まない集落等に対し、課題の解決と活性化を図るための新たな取組や、既存活動の向上・拡充を図る活動の提案を募集・選定し、共生・協働のむらづくりの取組を支援しています。**(共生・協働のむらづくり支援事業)**
平成22年度も支援事業を実施します！あなたの集落でも取り組んでみませんか？

取組事例の紹介

※その他取組地域の活動情報については、事例集や県ホームページなどで紹介しています。

うえの 上野地区むらづくり委員会(指宿市)

平成20～21年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区

～郷土愛を育む共生・協働のむらづくり～

- ・ 上野地区に伝わる「猿の子踊り」を、同じく保存・継承していた池田地区と、お互いに年中行事へ参加して踊りを披露し、地域間交流を図りました。
- ・ 農業機械による農作業事故を予防するため、安全講習会を行い、農作業の安全に努めました。
- ・ 安心・安全でおいしい上野地区の野菜づくりを実践するため、土づくりや適正な農薬の使い方などについて、研修会を行いました。



伝統芸能「猿の子踊り」



農業機械の事故予防研修



おいしい野菜づくりの研修

げんな 現名地区むらづくり委員会(西之表市)

平成20～21年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区

～地域特産物の開発による地域活性化～

- ・ 「むらづくり応援隊」として、やねだん（鹿屋市柳谷集落）の豊重哲郎氏を招き、地域特産物を活用したむらづくりについて研修しました。
- ・ 平成21年12月にオープンした直売所「現和物産館」を地域で運営しています。また、直売所で販売する農産加工食品研究に取り組んでいます。
- ・ 県の農業開発総合センターで農産加工食品研修と、農地を荒らさないための集落営農の取組を研修しました。



「やねだん」豊重氏を招き、研修



直売所「現和物産館」



集落営農の研修

むらづくりに関する相談窓口

『地域営農支援員』，『むらづくり応援隊』，『むらづくり支援事業』の活用等，共生・協働のむらづくりに関することは，お住まいの市町村役場または各地域振興局・支庁農林水産部へお問い合わせ下さい。

むらづくり通信員等からの情報

～ 平成21年度 取組紹介 ～

むらづくり自主財源確保に向けた活動(曾於市鶴木地区)



地域住民による大根収穫

11月12日、鶴木地区むらづくり委員会の主催により、大根の収穫が行われました。

住民皆が、元気に和気あいあいとした雰囲気の中で、約2時間で作業は終了し、その後はジャリパン（曾於市財部地域などで愛されている昔懐かしい味がするパン）を食べながら、反省会を楽しんで行いました。

収穫は、約20アールで10,700本、収益はむらづくり活動の資金に充てられます。

・平成19～20年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区
・平成21年度
共生・協働のむらづくり表彰
知事賞受賞地区

地域活性化を目指して夏祭りを開催(南九州市中福良地区)

残暑厳しい8月22日、第1回中福良校区夏祭りが地区内外から500人近い参加者のもと、盛大に開催されました。

午後5時過ぎの花火を合図に、子ども会による年間活動報告、知覧武双太鼓による演奏、知覧中学校吹奏楽部によるアンサンブル演奏、メケ・アロハ同好会によるフラダンス等が行われました。

最後は、祭りの目玉である、校区始まって以来という花火大会が行われ、夜空に打ち上げられる色とりどりの花火に大きな拍手や歓声があがっていました。

今後も、地域の活性化や人と人との交流を目的として、多くの人に親しみ、愛される地域の祭りとして続けていく予定です。



地元中学生による吹奏楽演奏

平成21～22年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区

むらづくり応援隊を活用した研修会(指宿市福元地区)



むらづくり研修会

福元地区むらづくり推進協議会では、「景観を守り伝統を伝える共生・協働のむらづくり」を推進しています。

12月21日、「むらづくり応援隊」の東馬場伸氏を講師として招き、むらづくり研修会を開催しました。

会では、集落営農の組織作りによる地域営農の安定化や、「自分たちの農村を元気づかせるためにどうすれば良いのか。」という意識改革の必要性などについて、講師御自身の経験等も踏まえた助言をいただくなど、今後のむらづくり活動を進めていく上で、大変参考となる会となりました。

平成21～22年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区

第11回 くきの 柗野ひがん花まつり(さつま町柗野地区)

平成21~22年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区



地元児童による史跡ガイド

今年で11回目となる柗野ひがん花まつりが、9月23日の秋分の日、地区むらづくり委員会の主催により開催されました。

当日は好天に恵まれ、町内はもとより、鹿児島市などからもたくさんの方が訪れ、1,500人近い来場者がありました。

午前10時から、参加者は思い思いにひがん花が咲いている道を散策し、カメラを片手にひがん花撮影に熱中する様子があちこちで見られました。コース途中には「田の神」や史跡などがあり、地元柗野小の児童が由来や歴史などの説明を行うと、参加者は足を止め、感心した様子で耳を傾けていました。

また、昼食時には、地区に伝わる棒踊り、疱瘡(ほうそう)踊りや近くの保育園児の太鼓演奏などがあり、観客からたくさんの拍手を浴びていました。

諏訪神社祭りでオバッチョ踊りを奉納(伊佐市篠原地区)

しのはら

平成21~22年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区

8月22日、篠原地区の行事である諏訪神社祭りが今年もにぎやかに開催され、地区の伝統芸能「オバッチョ踊り」が奉納されました。

オバッチョ踊りは、伊佐市の指定無形民俗文化財で、昭和7年頃に篠原地区に伝わったとされ、五穀豊穰・無病息災を祈願して、毎年8月に行われる諏訪神社祭りで奉納される踊りです。

また、奉納の後には、女性部による踊りや、地元の伝統芸能集団バラサによる和太鼓のパフォーマンス等もあり、祭りに花を添えました。

さらに、今年は、40年前頃まで実施していた参道への竹灯ろうの設置を復活させ、祭りに更なる荘厳さが加わりました。



オバッチョ踊り

おおあいら新鮮青空市(鹿屋市大始良地区)

おおあいら

平成21~22年度
共生・協働のむらづくり支援事業
実施地区



青空市の様子

大始良地区共生・協働むらづくり委員会では、石蔵倉庫を活用した直売所の設置を目標に、これまで先進地研修や家庭菜園栽培研修会を実施してきました。

これらの研修を踏まえて、11月15日に石蔵倉庫前の広場で「おおあいら新鮮青空市」を開催しました。

地元で採れた野菜や果物を中心に、米、菓子、パン、ホルモン焼き、竹細工など17軒の出店があり、多くの人でにぎわいました。

今後は、さらに農産加工品作りや販売などにも取り組む計画です。「おおあいら新鮮青空市」は、12月以降も毎月第3日曜日に開催予定です。

【問い合わせ先】

鹿屋市役所大始良出張所

電話 0994-48-2014

ホタルの幼虫放流会(始良町住吉地区)^{すみよし}

平成20年度 共生・協働のむらづくり表彰
知事賞受賞地区（※表紙にも関連記事あり）



ホタル幼虫の観察

10月18日、住吉自然保全会のホタル部会が中心となって、「ホタルの幼虫放流会」が開催されました。

放流会には、地元の小学生をはじめ多くの人に参加し、ホタルについての説明などもありました。

毎年行われているこの「ホタルの幼虫放流会」で放流する幼虫は、集落内の子ども会や校区内外の小学校とが連携して飼育しています。

今後さらに、ホタルを活用したイベントを通して地区外との交流を拡大することとしています。

集落探検ワークショップin福山(鹿児島市福山地区)^{ふくやま}

12月6日、水土里サークル活動の一環として、「福山地域環境保全隊」を中心にワークショップが開催されました。

ワークショップには、大人42人、子ども17人の計59人が参加し、4班に分かれて集落点検を行い、集落点検の後には、班ごとに点検マップの作成や地域の夢や将来像について話し合い、その結果を各班のリーダーが参加者全員の前で発表しました。

発表の中には、「50年住んでいるが、集落の埋もれている史跡など、初めて知った。」とのコメントもあり、活動の目的の一つである「地域資源の再確認・再発見」も達成されたようです。

大人から子どもまでみんな一緒に、真剣にそして和やかに進められ、今後の更なる活動展開が期待されます。



点検マップの作成

「阿権青ばと会」と地元小学校・地域とのふれあい活動(伊仙町阿権集落)^{あごん}



もちつき体験

阿権集落で水土里サークル活動を行っている「阿権青ばと会」は、12月に地元の阿権小学校と連携して、小学生・保護者をはじめ、地元高齢者クラブを交えたもちつき大会を実施しました。

阿権小学校では、14年前から保護者や高齢者等とのふれあいを通した稲作体験（育苗～収穫）を行っており、この日は、収穫したもち米を使ってもちをつき、参加者でつきたてのもちを食べ、交流を深めました。

また、このほかにも「阿権青ばと会」は、農地に係る環境整備などの通常活動のほか、校区内の素晴らしい所や危険箇所を確認するためのワークショップを実施するなど、集落内の交流活動の一翼を担っています。

地域とNPOとの協働によるひまわり植え（いちき串木野市川北地区）かわきた



ひまわりの種まき

5月23日、川北地区保全会では、NPO「いちき元気会」と協働して、国道3号線沿いにひまわりを植え付けました。

高齢者から幼児まで参加し、種を入れる穴を開ける人、種を入れていく人、土をかぶせる人等、役割を分担し、立派なひまわりが咲くことを祈りながら植えました。

この取組は、NPO「いちき元気会」が6年前に始めたもので、ひまわりの他、菜の花、コスモスを植え、道行く人々の心を和ませています。

子どもが主役の「楠川城祭り」（屋久島町楠川地区）くすがわ

5月5日のこどもの日に、第12回「楠川城祭り」が開催されました。

花火を合図に子どもみこしが会場周辺を練り歩き、祭りの雰囲気盛り上げました。

開会式終了後、地元で生産された生鮮野菜や手作りの団子類、うどんや焼鳥、新茶等が販売され、大勢の買い物客でにぎわいました。

また、舞踊や子どもフラフープ大会、ご祝儀もちまき等もありました。

祭りの会場が楠川城の近くで、島内一周道路沿いにあることから、観光客も立ち寄り、800人余りの人出でにぎわいました。



子どもたちによる舞踊披露

農産物フェアがにぎやかに開催されました（出水市高尾野北部地区）たかおの ほくぶ



農産物フェア

出水市高尾野北部地区では、12月6日、むらづくり活動の一環として「農産物フェア」を開催しました。

今年で6回目となるこの催しでは、地元産の新鮮な野菜類や果物、米等のほか、陶器、竹製品などの工芸品、地元特産の植木類など、多彩な品目がずらりと並び、多くの買い物客でにぎわいました。

また、今年も地元産の小麦粉も人気があり、500グラム入りの袋が約50袋も売れました。団子汁やスナック・パン、あんこ入りの団子など用途は幅広く、スーパー等には売ってないことも手伝っているようです。昔の味が懐かしい、田舎でしか味わえないものの需要の根強さが伺えました。

むらづくり情報をお寄せください！

県では、農村集落が主体となって取り組む活動等の情報を、「むらづくり通信員」（情報提供ボランティア）や市町村等から広く収集し、本誌やホームページ等で紹介しています。

あなたの地域の活動情報をお住まいの市町村役場又は各地域振興局・支庁へお寄せください！

（※「むらづくり通信員」の登録は、各地域振興局・支庁で随時行っています。）

「農林漁家民宿おかあさん100選」に2名の方が認定されました



宮崎 トミ枝 さん

「農林漁家民宿おかあさん100選」とは、農林漁家民宿について、地域の資源や人材の魅力、安全・安心な滞在の提供など、その品質の維持・向上を図るとともに、イメージや実態を広く国民に理解してもらうため、地域のオピニオンリーダーであり、自身の民宿経営に成功し、地域活性化に寄与している“おかあさん”を選定し、紹介するものです。

平成21年度は鹿児島県から初めて2名の“おかあさん”が認定されました。

- 陽なたぼっこのよしおちゃん家(南九州市) 宮崎 トミ枝 さん
- 農家民宿 山ノ瀬(屋久島町) 岩川 絹代 さん

※県内の農林漁家民宿については下記の県ホームページで紹介しています。



岩川 絹代 さん

かごしまグリーン・ツーリズムフォーラムが開催されました

平成22年2月5日、垂水市において、特定非営利活動法人NPOさつま及び九州のムラたび応援団の主催により、「かごしまグリーン・ツーリズムフォーラム」が開催されました。

このフォーラムには県内外から約150名が参加し、地域のグリーン・ツーリズムネットワーク組織の概要や先進事例の紹介、意見交換等が行われ、今後のグリーン・ツーリズムの可能性について、共通理解が醸成されたとともに、県内の実践者等の連携強化が図られました。



子ども農山漁村交流プロジェクト（南九州市，伊佐市）

このプロジェクトは、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い子どもの成長を支える教育活動として、農林水産省・文部科学省・総務省が連携して、小学校における農山漁村での長期宿泊体験を推進するものです。

平成21年度は、南九州市において鹿児島市の名山小学校が、伊佐市において横浜市の大口台小学校が農家等に宿泊し、農作業体験や炭づくり体験、地元小学校との交流などを行いました。

※南九州市と伊佐市は農林水産省の受入モデル地域に指定されています。



お茶の手もみ体験

教育旅行を農家等で安全に受け入れるための取扱指針を制定しました

県では、平成21年3月に「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」を制定しました。これは、修学旅行や子ども農山漁村交流プロジェクト等の教育旅行において、農山漁村での暮らしを丸ごと体験する農山漁村生活体験学習のニーズが高まっていることを受け、市町村等を通じて受入農家等が提供する体験学習の範囲を明確化するとともに、事故防止など受入側の安全面に対する意識を向上させ、体験学習の安全性を確保することを目的に定めたものです。

なお、指針の具体的内容等につきましては、県庁農村振興課をはじめ、お住まいの市町村役場または県地域振興局・支庁農林水産部へお問い合わせください。

むらづくり通信

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL：099-286-2111(内線3109)

鹿児島県ホームページ（むらづくり，グリーン・ツーリズム）

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/index.html>